

「日本中世英語英文学会小史」ホームページ公開にあたって

2004 年は、日本中世英語英文学会 20 周年を記念する年でした。日本では「成人」になる年数を経たこととなります。この一区切りの年に私たちの学会の歴史を記録しておこうという案が、2003-04 年度会長今井光規先生から提案されました。すでに「会報」40 および 41 号で報告済みですが、2004 年 5 月の評議員会で日本中世英語英文学会小史（以下：小史）編纂の企画が報告され、小史編纂委員会が構成されました。

小史編纂の目的は、現在の学会発足以前に活動していた「中世英文学談話会」（主に関東圏およびそれ以北の研究者が参加）と「中世英文学研究会」（主に中京を含む関西圏およびそれ以南の研究者が参加）の実績も踏まえて、日本における中世英語英文学研究の足跡を記録し、今後の学会の諸活動および研究動向に資することを期待するというものです。私たちの中世英語英文学研究は、中世英文学談話会（以下：談話会）第 1 回研究会（1955 年）から数えると 50 年、中世英文学研究会（以下：研究会）の発足（1965 年）から 40 年の歴史をもつこととなります。単なる回顧ではなく、個人発表・シンポジウム・特別講演などに見られる研究テーマの進展・折々に関わった研究者の研究への思い・徐々に充実してきた委員会活動などをまとめた形で残します。

公開の形式は、日本中世英語英文学会ホームページ上とします。掲載の期間は今後検討しますが、データを残し後日の検索あるいは印刷物としての出版に供することもできます。皆様からの自由投稿を掲載することも考慮中ですが、当面は小史委員会が企画し、下記のような内容を掲載することを予定しています。今後、時期やテーマ別に寄稿をお願いすることがありますが、どうぞよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

「談話会」「研究会」時代を語る：8 名の先生の寄稿。2005 年 4 月下旬公開予定。

「談話会」「研究会」の実記録（研究会年月日・会場校・研究発表題目・発表者氏名等）

「現学会」（東西支部活動を含む）の実記録および諸先生の寄稿。

現在のところ、「研究会」の実記録の元となる資料は、佐々部英男先生がおまとめになった冊子のコピーを斉藤勇先生と今井光規先生から、「談話会」関係資料は松田英先生から会報と繁尾久先生のノートをご提供頂いています。ただし「談話会会報」Nos.6-12（7 冊）が欠けています。ご所持の方があれば、池上恵子までご連絡頂ければ幸いです。

ホームページにアクセスして頂き、今後とも小史をお読みくださるよう、小史編纂委員一同およびホームページ管理者よりお願い申し上げます。【文責：池上恵子】

小史編纂委員会委員（順不同）

向井毅（福岡女子大学）

地村彰之（広島大学）

海老久人（神戸女子大学）

武内信一（青山学院大学）

池上恵子：委員長（大東文化大学）